

事業所における自己評価総括表

○事業所名	一般社団法人 ほっぷ 放課後等デイサービス ほっぷ		
○保護者評価実施期間	令和8年1月15日		～ 令和8年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名/15世帯	(回答者数) 14世帯
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日		～ 令和8年1月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づいた支援が継続的に行われていること	アセスメントを踏まえ、児童発達支援管理責任者を中心に職員間で支援計画を共有し、日々の支援が計画に沿って行われるよう打合せや記録を実施している。	モニタリングの質をさらに高めるため、振り返りの視点を整理し、職員間での共有方法をより分かりやすくしていく。
2	保護者との情報共有や相談対応が丁寧に行われていること	送迎時や面談等を通じて、日々の様子や成長、課題について保護者と伝え合い、共通理解を大切にしたり関わっている。	面談の機会や記録の整理を工夫し、保護者がより安心して相談できる体制を継続的に整えていく。
3	安全管理・非常時対応への意識が高いこと	各種マニュアルの整備や避難訓練、安全計画の策定を行い、職員間での周知と共有を図りながら支援を行っている。	訓練内容の振り返りを行い、想定を広げた訓練や職員研修を取り入れることで、より実践的な安全対応力の向上を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童や放課後児童クラブ等との交流機会が十分でないこと	安全面や児童の特性への配慮から、地域交流の機会を積極的に設けることが難しい状況がある。	まずは見学や情報交換など段階的な関わりから検討し、無理のない形で地域とのつながりを模索していく。
2	保護者同士・きょうだいへの支援の機会が限定的であること	保護者会や交流の場を定期的で開催する体制が十分に整っていないことが要因と考えられる。	小規模な情報提供や意見交換の場など、実施可能な形から保護者・きょうだい支援の充実を検討していく。
3	業務改善や振り返りへの職員全体の参画にばらつきがあること	勤務形態や時間の制約により、全職員が同じ場で話し合う機会を持ちにくい状況がある。	書面共有の工夫や短時間ミーティングの活用により、より多くの職員が業務改善に関わる仕組みを整えていく。